

2025年12月22日

熊本大学大学院自然科学教育部理学専攻

### 理学専攻 M2アンケートの集計と分析

このアンケートは2025年3月に修了した自然科学教育部理学専攻の大学院生を対象として実施したものであり、9月修了生と外国人留学生については実施していない。アンケートの回答結果は、理学専攻および理学科の教育システムの改革や改善向上のために活用する。全対象院生からのアンケート回答回収を目指して、各研究室にアンケート用紙必要部数を封筒に封入して配布し、以下提出期限までに教務担当事務まで提出依頼した。

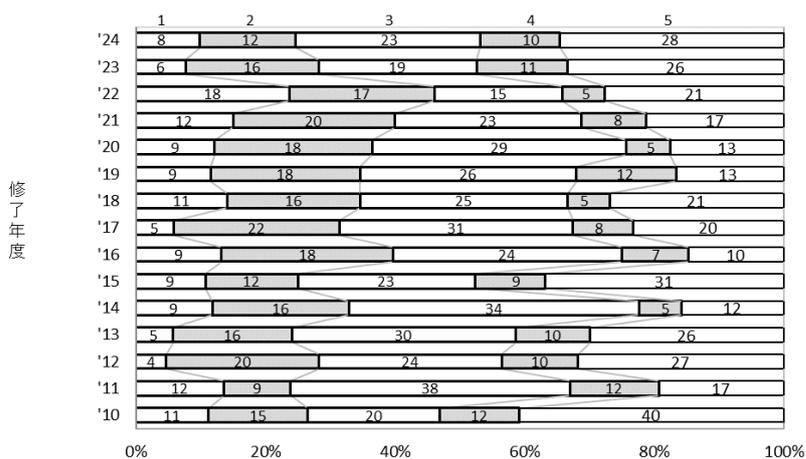
提出期限：2025年2月26日（月）

提出場所：理学部教務担当

結果、81名から回答を得ることができた。回収率は87%であった。この報告書において回収したアンケートデータの集計とその分析を行った。なお‘24卒業年度を今年度と表記した。

あなたの研究分野は何ですか

1. 数学
2. 物理科学
3. 化学
4. 地球環境科学
5. 生命科学



## A. 入学時の志望理由について

(A1) 入学時に熊本大学大学院自然科学教育部理学専攻を選んだ理由を記述して下さい。

回答・意見など：75件

多くあった意見をまとめると以下のようになる。

- ・研究、専門性、知識を深めたい、研究を継続したい 59件
- ・学部と同じ環境で学びたい 7件
- ・学部と同じ先生に学びたい 3件

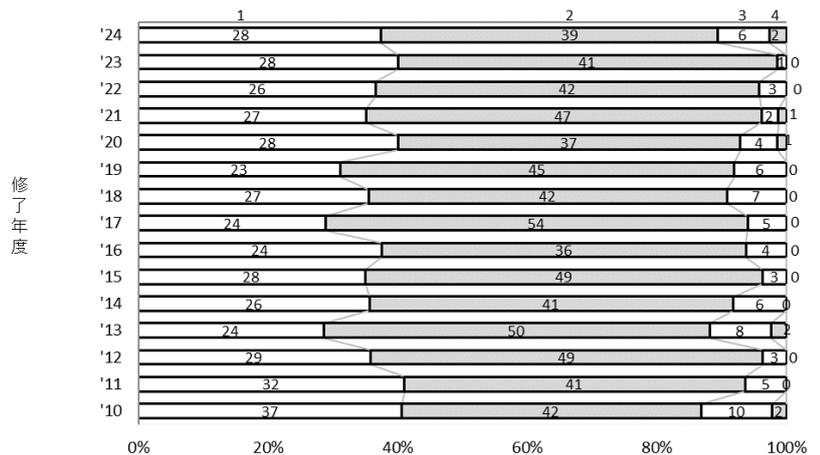
概ね前向きな理由で本専攻が選ばれている。

## B. 教育・研究について

熊本大学理学部理学科を卒業された人に学部での授業や制度についてお聞きします。  
(該当しない人は次ページの質問 (B7) に進んで下さい)。

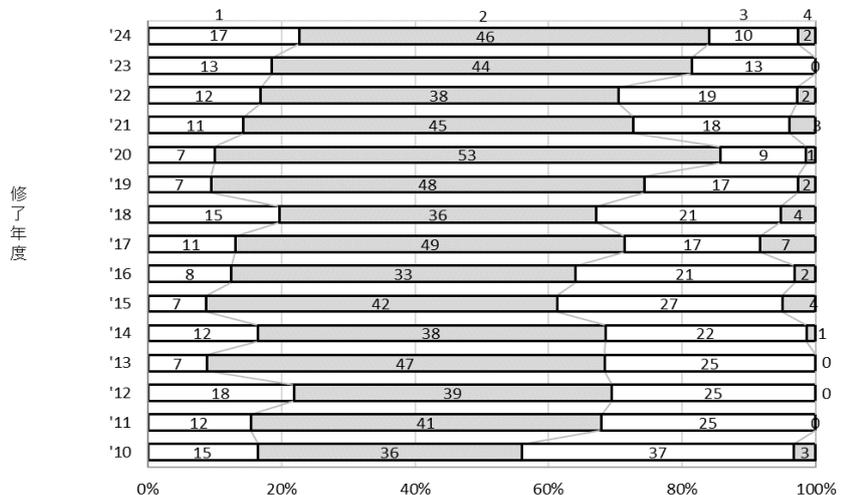
(B1) あなたの専門分野に関連する学部の専門科目は、大学院進学後の学修・研究に有益でしたか。

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった



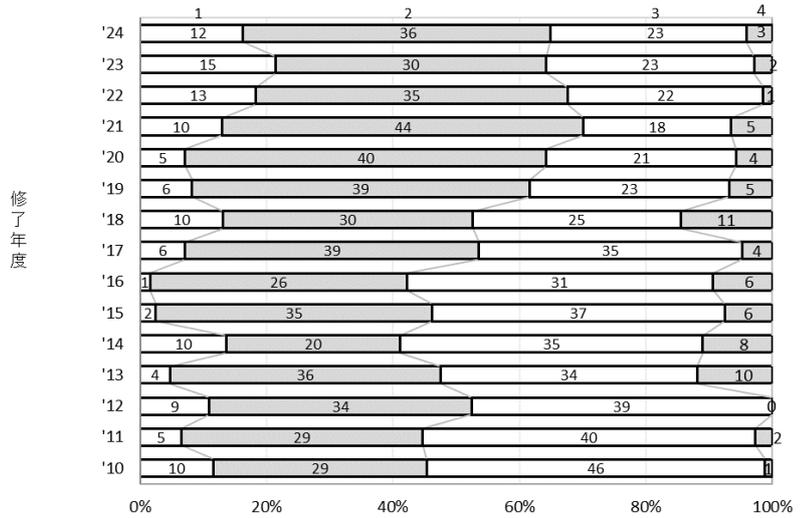
(B2) あなたの専門分野外の学部の専門科目(理系基礎科目・理学共通科目も含む)は、大学院での学修・研究に有益でしたか。

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった



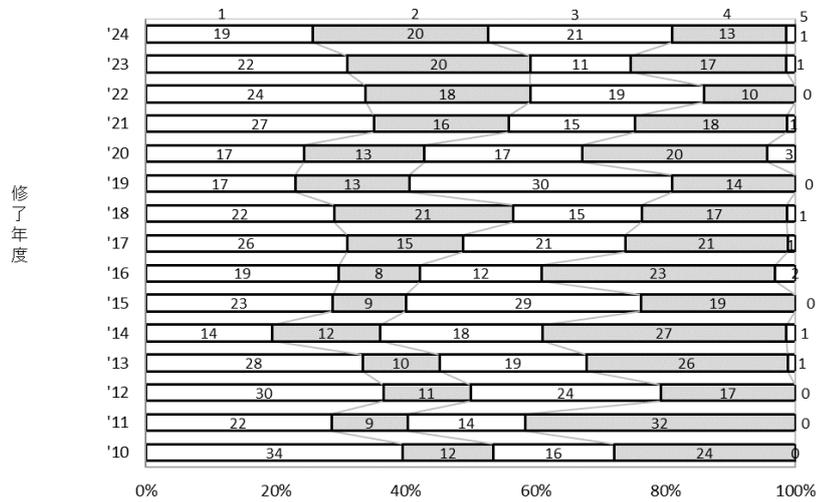
(B3) 教養教育での学修は、大学院での学修・研究に有益でしたか

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった



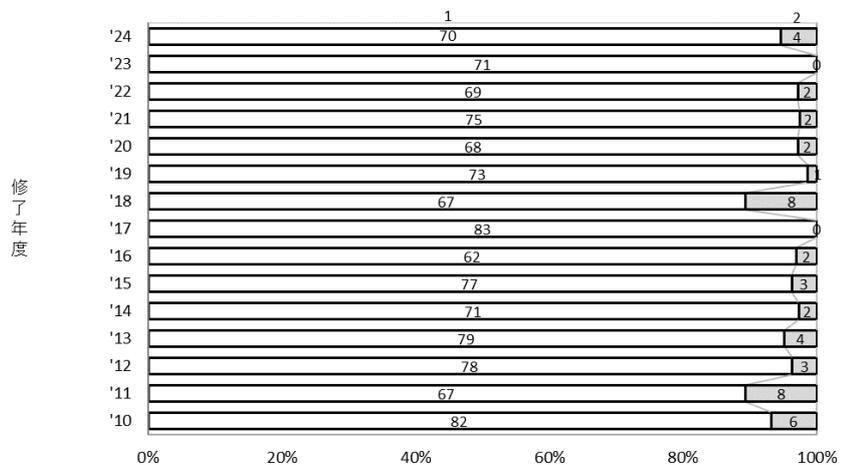
(B4) 理学科での専門分野はいつ決めましたか.

1. 入学前
2. 1年終了時
3. 2年前期終了時
4. 2年後期
5. その他 (回答 1件)



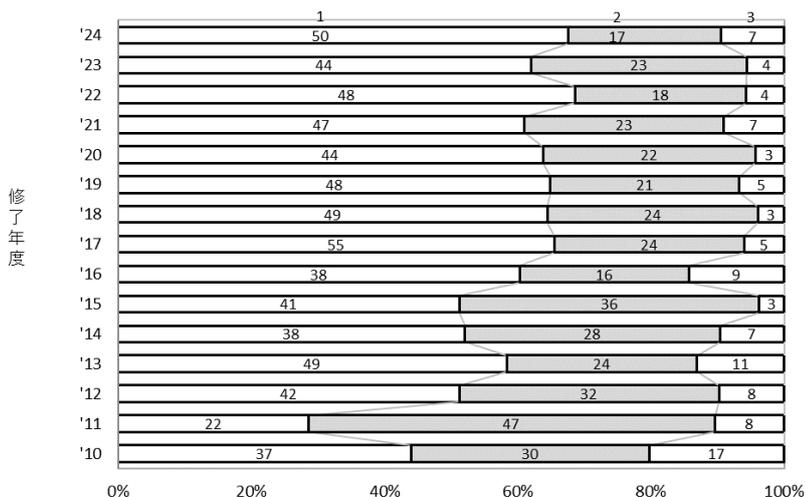
(B5) 専門分野の選択は自分にとってよかったと思いますか.

1. 思う
2. 思わない



(B6) 現在，3年進級時にコースを選択していますが，いつがよかったと思いますか。

1. いまのまま（3年進級時）
2. 2年後期から
3. その他（時期：回答7件）

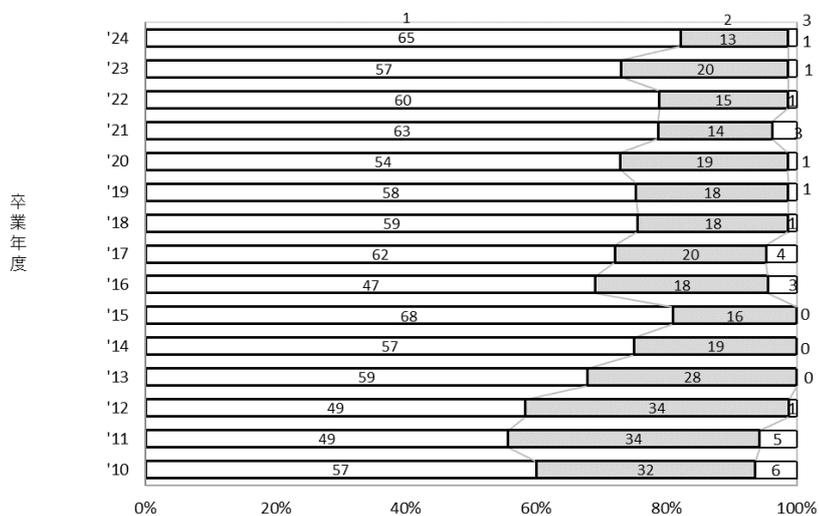


(B1)から(B6)に対する回答を分析すると、科目、有益性等への評価として、概ね好意的な回答が多数を占める傾向(特に教養教育が有益だったとする回答が6割近くに達するなど)続いており、満足度の得られている現状と判断する。コース配属時期については、現状、あるいは2年後期で良いといった意見が大半を占めるが。

自然科学教育部での授業に関してお聞きします。

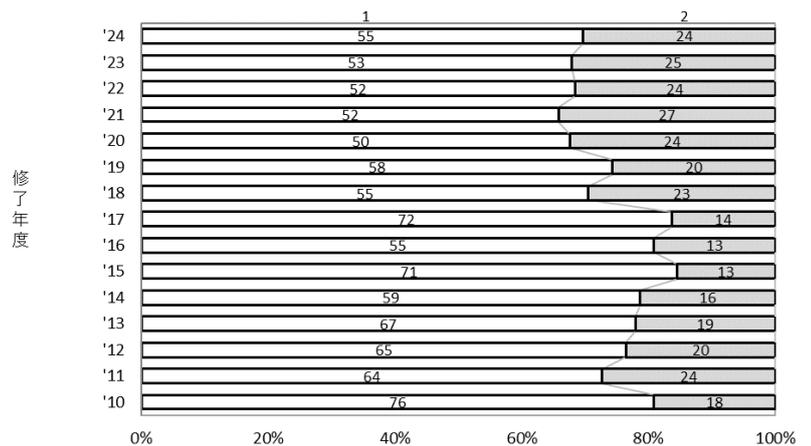
(B7) 必修科目数と選択科目数の割合は適切でしたか。

1. 適切であった
2. どちらとも言えない
3. 不適切であった



(B8) 理学専攻で他大学等の先生の集中講義を履修しましたか。履修した場合は、科目数もお書き下さい。また、集中講義に対して具体的な意見があれば、自由記述欄にお書き下さい。

1. 履修した (科目数 : 回答数 49 件)
2. 履修しなかった



(B9) 大学院の授業の中で特に有意義であった授業を挙げて下さい。

科目名, 意見など 61 件

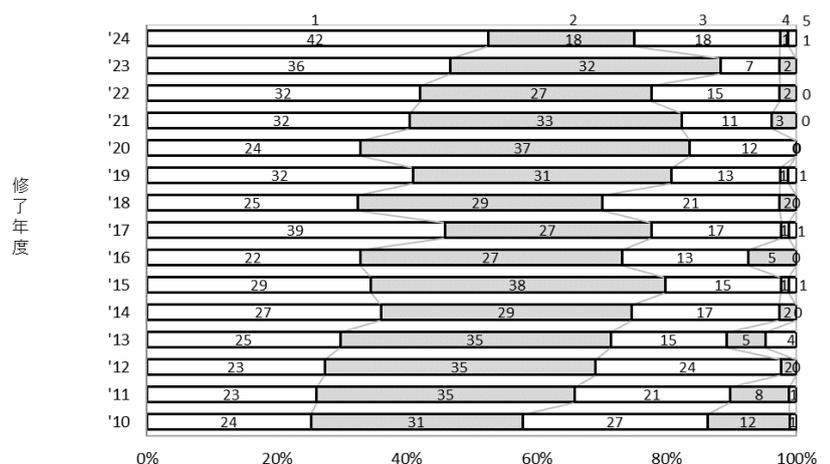
(B10) 博士前期課程 2 年生で授業 (特別研究やゼミナールを除く) を何科目履修しましたか。

科目数 : 平均 2.5 科目 (うち集中講義 平均 0.6 科目)

回答数 : 81 件

(B11) 博士前期課程のカリキュラムは如何でしたか。

1. 満足
2. どちらかといえば満足
3. どちらとも言えない
4. どちらかといえば不満足
5. 不満足

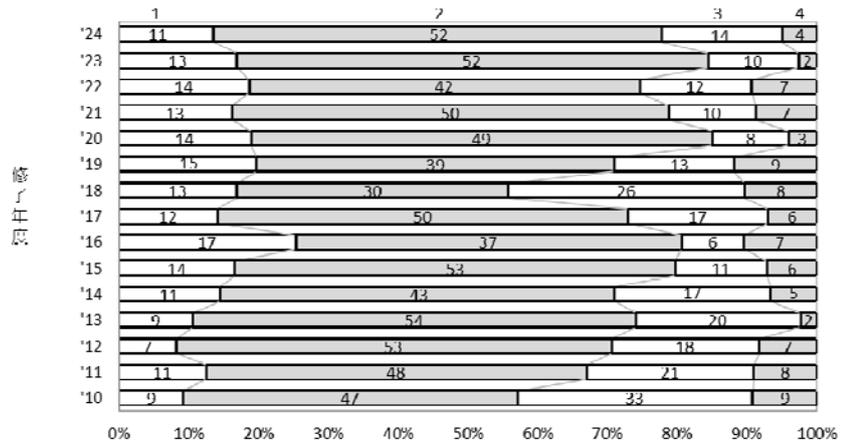


(B7)から(B11)に対する回答として、科目数の評価には好意的な回答が多数を占めたが、カリキュラムに不満のある学生が若干増えたことには注意が必要である。

自然科学研究科の教育全般についてお聞きします。

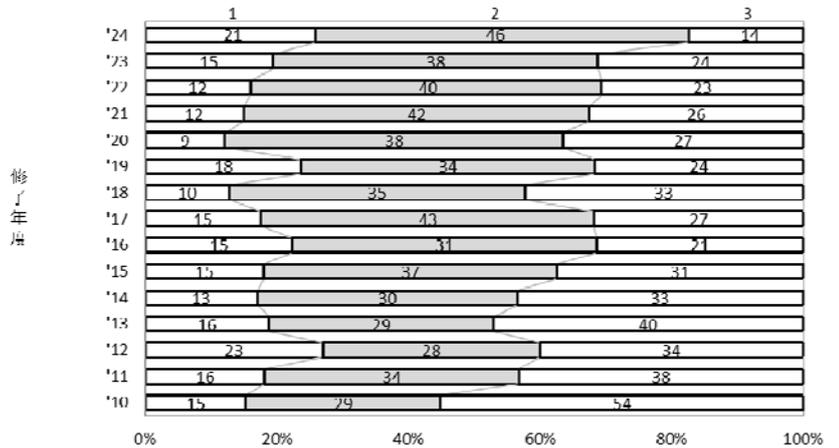
(B12) 学生便覧に掲載されている自然科学教育部の教育目的は理解していましたか。

1. 十分理解している
2. ほぼ理解している
3. よくわからない
4. 知らない



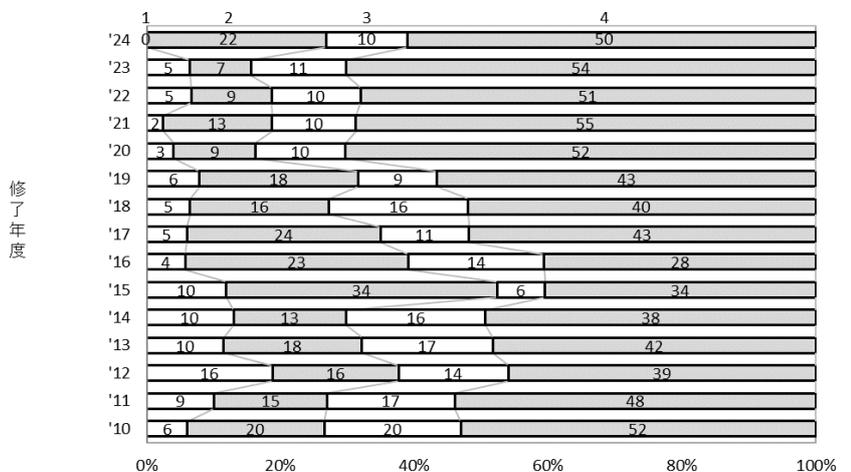
(B13) 自然科学教育部は理学系の専攻と工学系の専攻からなる融合型の研究科ですが、その事のメリットはありましたか。

1. メリットはあった
2. わからない
3. メリットはなかった



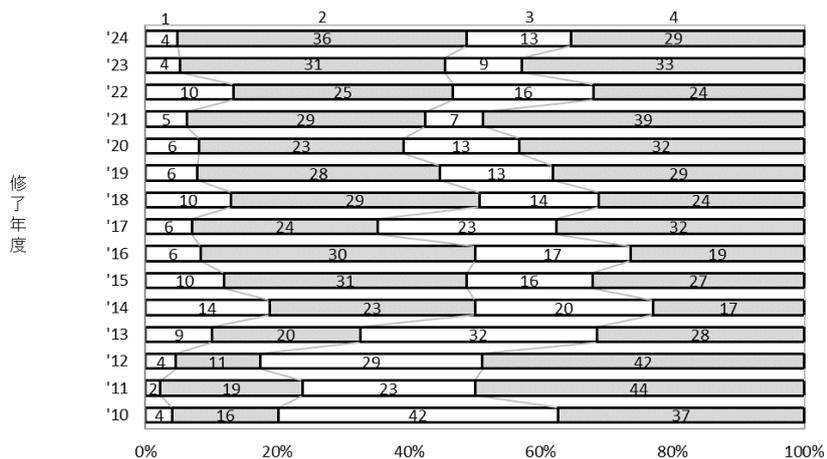
(B14) 工学系の専攻の大学院生との学術的交流はありましたか。

1. 工学系の大学院生と一緒に研究した
2. 工学系の大学院生と一緒に授業を履修した
3. 学術以外の交流があった
4. 全くなかった



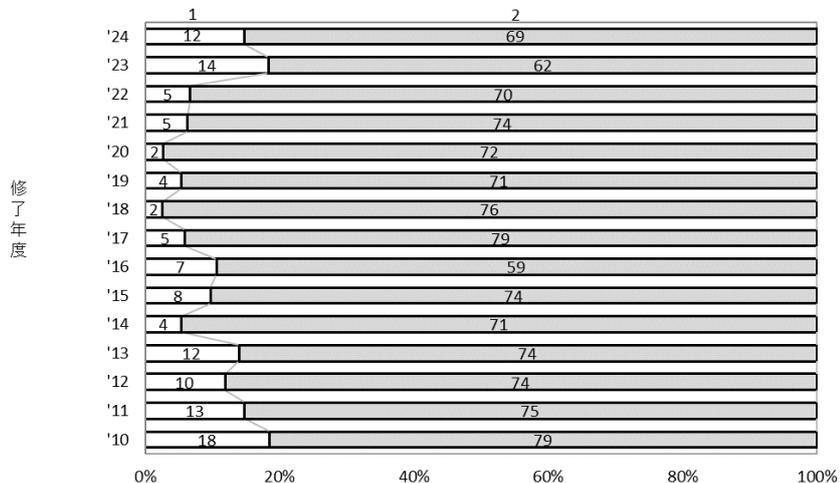
(B15) 研究分野の異なる大学院生との学術的交流はありましたか。

1. 一緒に研究した
2. 一緒に授業を履修した
3. 学術以外の交流があった
4. 全くなかった



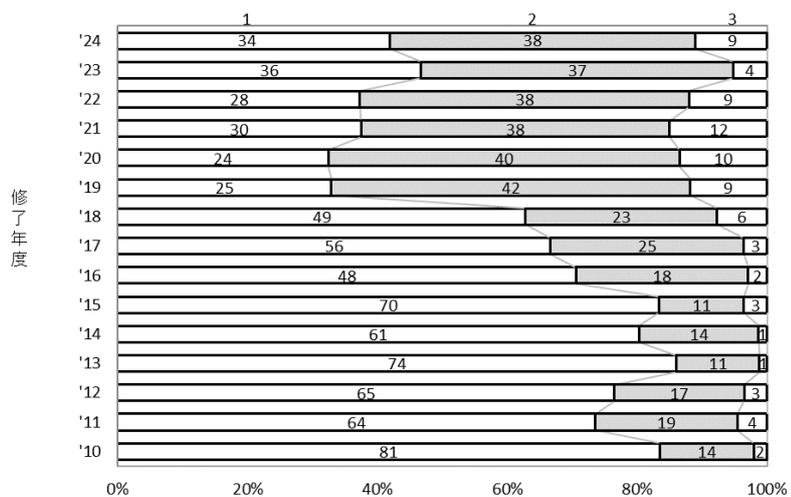
(B16) 工学系の専攻の授業科目は履修しましたか。

1. 履修した (科目数: 回答数 12 件)
2. 履修しなかった



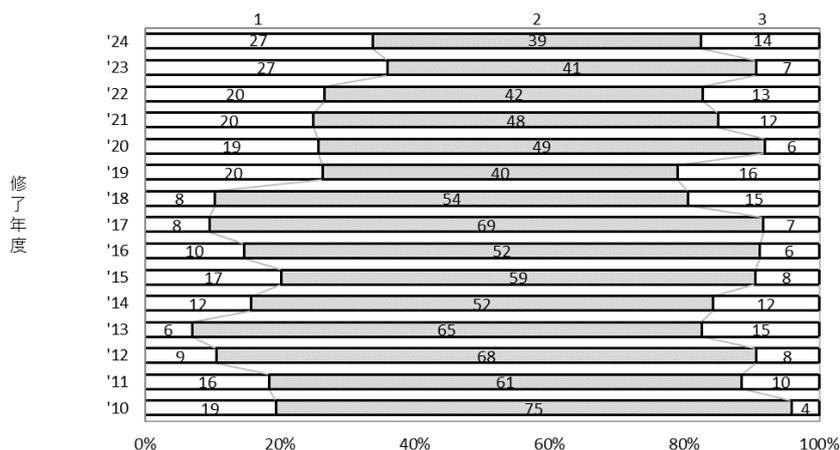
(B17) 全専攻共通科目 (インターシップ I, 特別プレゼンテーション I) は履修しましたか。

1. 履修した (科目数: 回答数 33 件)
2. 履修しなかった
3. 知らなかった



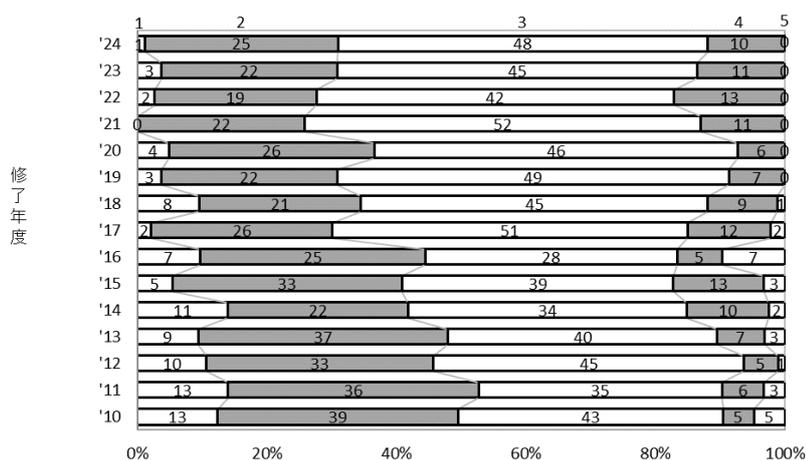
(B18) 理工融合教育科目（先端科学科目，大学院教養教育科目，英語教育科目，MOT 特別教育科目）IJEP 開講科目，イノベーションリーダー育成プログラム開講科目は履修しましたか。

1. 履修した（科目数：回答数 27 件）
2. 履修しなかった
3. 知らなかった



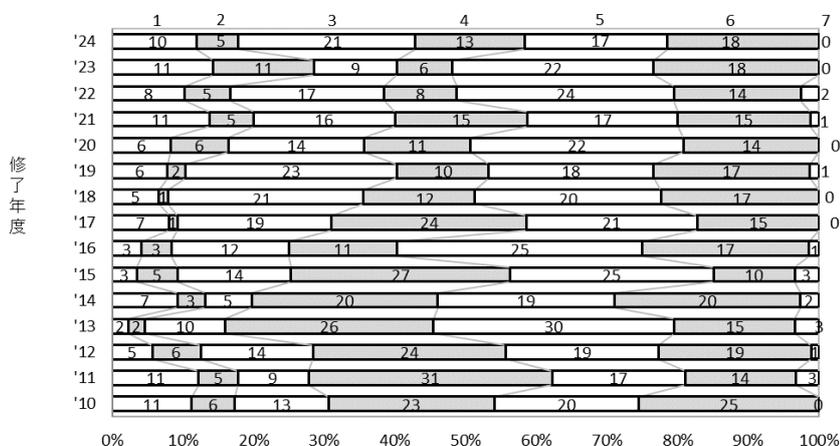
(B19) 自然科学教育部の授業の英語化について意見をお聞かせ下さい。（複数選択可）

1. 全て英語が良い
2. 専門用語は英語が良い
3. 基礎的な内容は日本語が良い
4. 全く必要ない



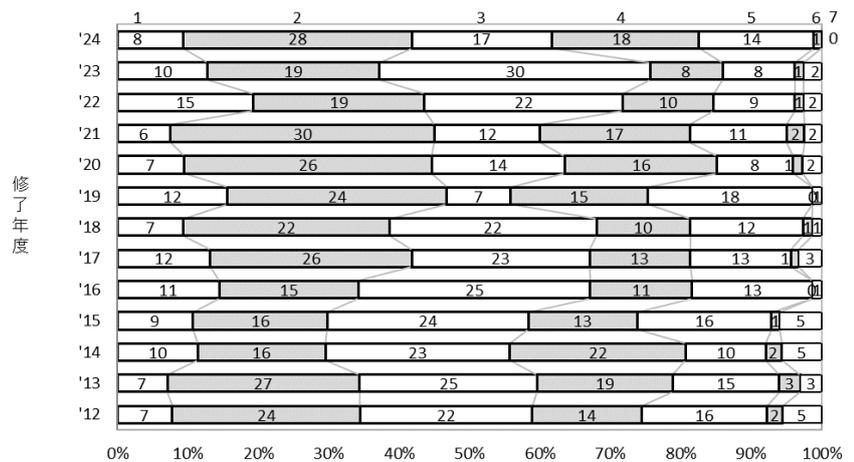
(B20) 学部・大学院の6年間の中で勉学意欲が最も上がったのはどの時期ですか。

1. 1年次
2. 2年次
3. 3年次
4. 4年次
5. M1
6. M2
7. その他



(B21) 学部・大学院の6年間で、いつの時期にもっと学修しておけば良かったと思いますか。

- 1. 1年次      2. 2年次
- 3. 3年次      4. 4年次
- 5. M1          6. M2
- 7. その他

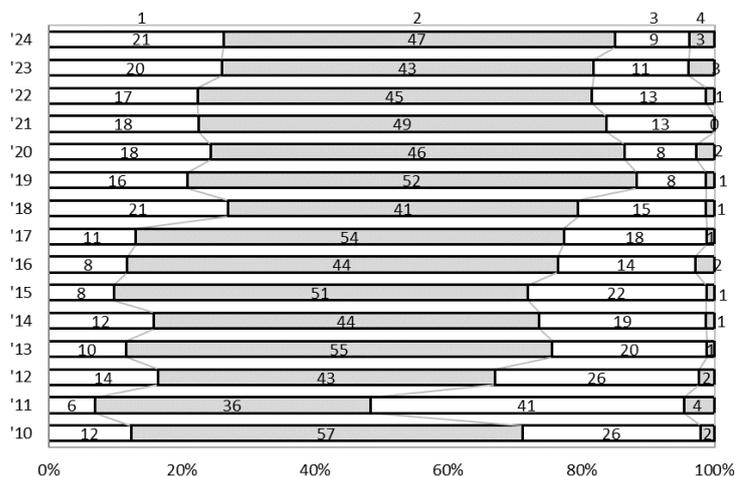


(B12)から(B21)に対する回答を分析すると、自然科学教育部の教育目的は理解しているものの、理学系・工学系の融合型であるメリットを実感できている学生は少ないようである。また、依然として日本語での講義を希望する学生が多い。

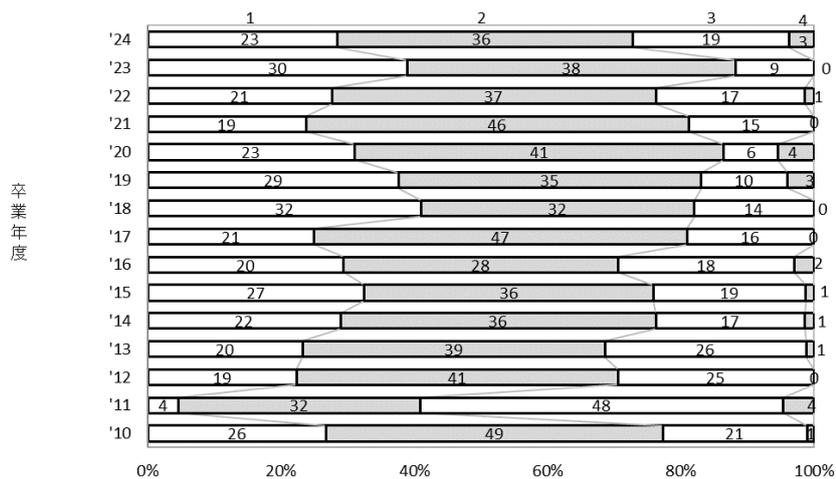
(B22) 学部・大学院の6年間の履修を通してどのような力が身に付いたと思いますか。それぞれの項目に関して、次の4段階で回答してください。

- 1. よく身に付いた                      2. ある程度身に付いた
- 3. もっと身に付けたかった          4. 全く身に付かなかった

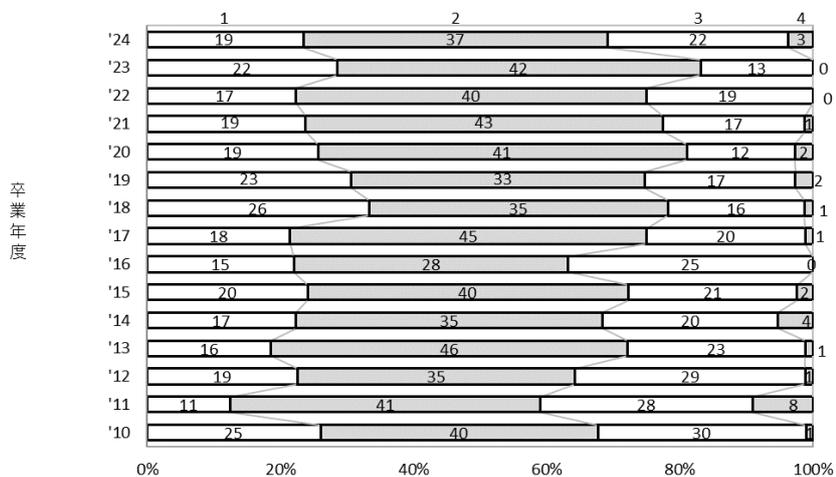
a. 教養・基礎学力：



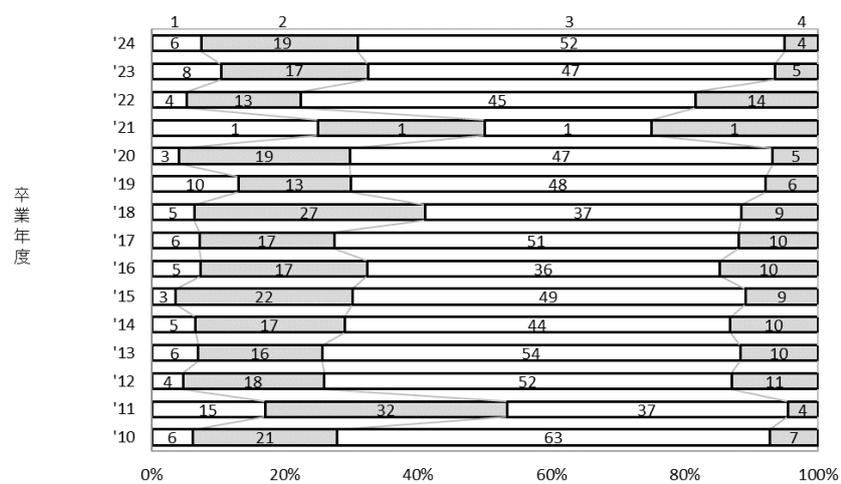
b. 専門知識：



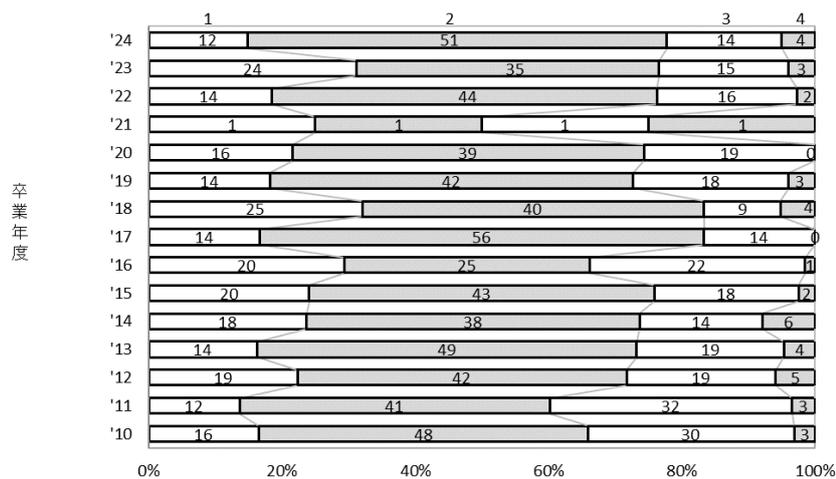
c. 技術・技能



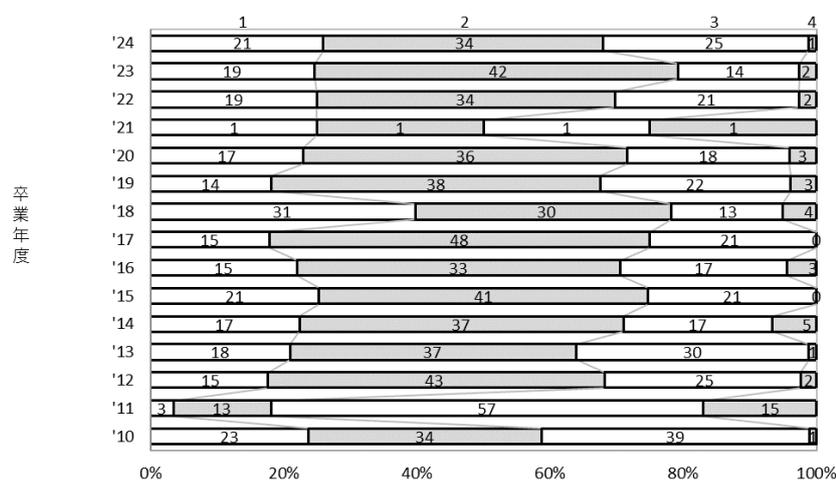
d. 英語を含めた外国語運用力



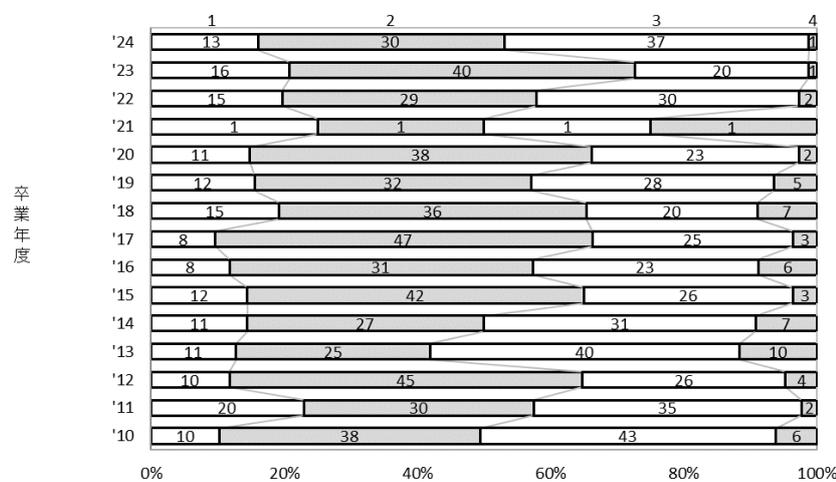
e. 一般的なコミュニケーション力



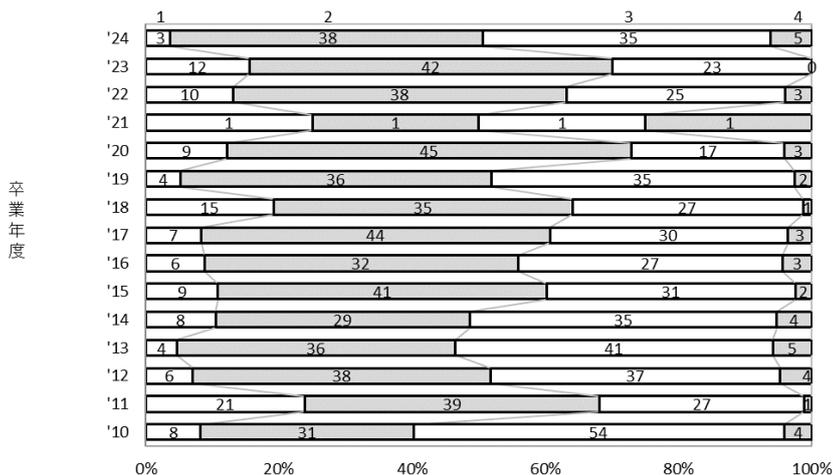
f. プレゼンテーション力



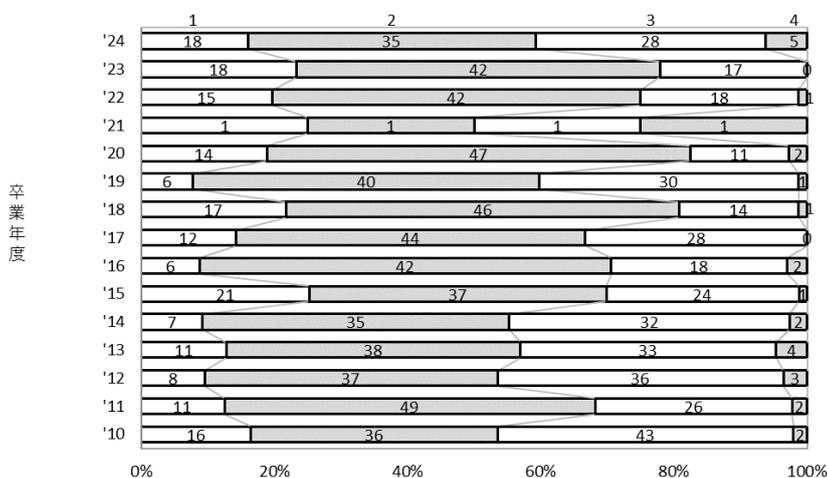
g. ITリテラシー・コンピュータ操作能力



h. 独創性・発想力

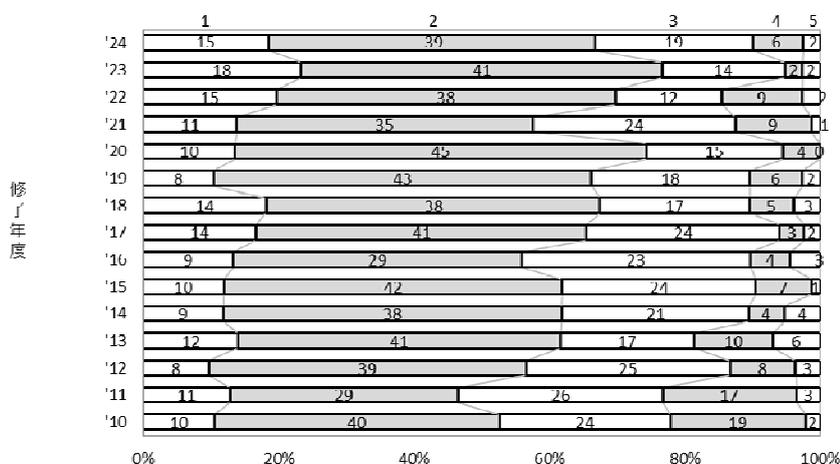


i. 課題発見・解決力



(B23) 博士前期課程を修了するにあたり、修士としての専門能力が身に付いたと思いますが、自己評価として満足していますか。

1. 満足
2. どちらかといえば満足
3. どちらとも言えない
4. どちらかといえば不満足
5. 不満足

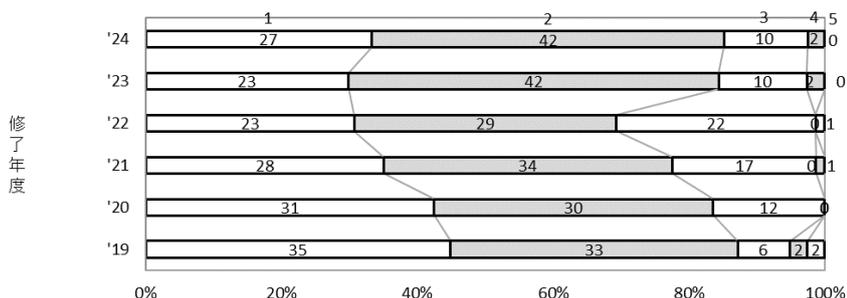


(B22), (B23)では、多くの項目で前向きな回答が得られている。その一方で、外国語運用能力ならびに独創性・発想力については、もっと身に付けたかったという回答が多く、学部教育も含めて学生の要求には応えきれていないという結果となった。

修士論文の研究および研究指導体制やシステムについてお聞きします。

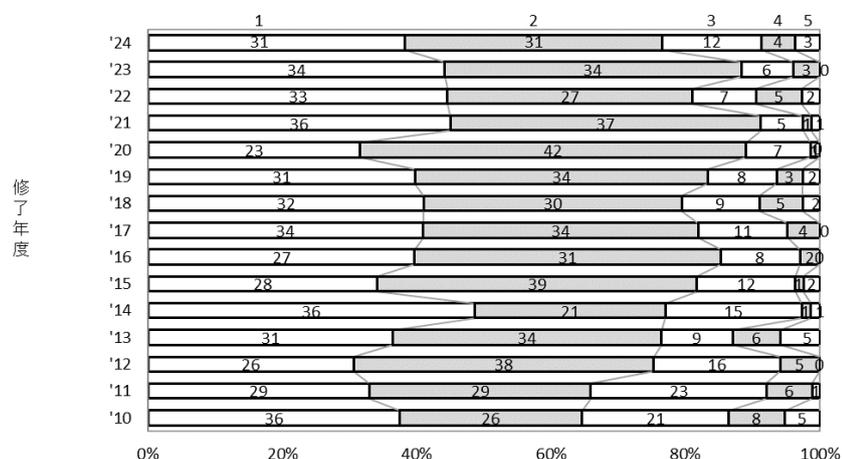
(B24) 修士論文の研究に平均としてどれだけ費やしましたか。

1. ほぼ毎日
2. 週4, 5日
3. 週2, 3日
4. 週1日
5. ほとんどしなかった。



(B25) 大学院での研究指導体制に対して満足していますか。

1. 満足
2. どちらかといえば満足
3. どちらとも言えない
4. どちらかといえば不満足
5. 不満足



(B26) 研究を継続する上で役にたった項目(中間発表, 学会発表, セミナーなど)があれば記述して下さい。

回答: 40件

(B24) から (B26) への回答に関して、コロナ禍も落ち着き修士研究に打ち込む時間が増えている。学会発表が役にたったという割合が多いことも目立つ。また、24年度は指導体制に対して若干不満が増加したことに留意が必要である。

### C. 修了後の進路について

(C1) あなたの4月以降の進路は何ですか。

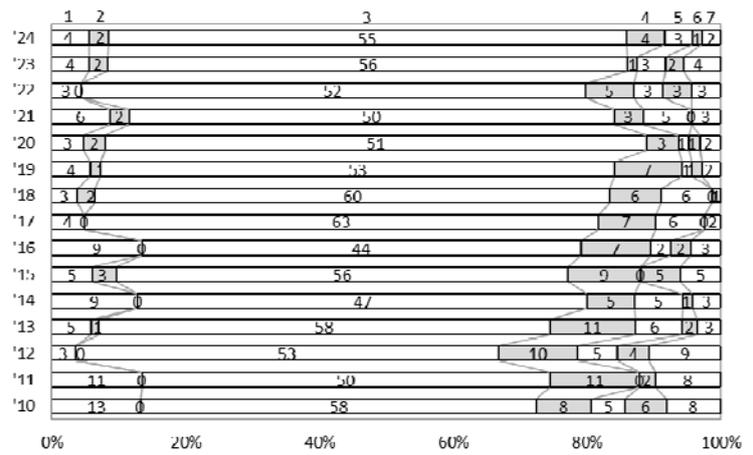
[大学院博士後期課程へ進学]

1. 熊本大学
2. 他の大学

[就職]

3. 民間企業
4. 教職（非常勤および臨時採用含む）
5. 公務員
6. その他の就職先
7. その他（進学・就職以外）：2件

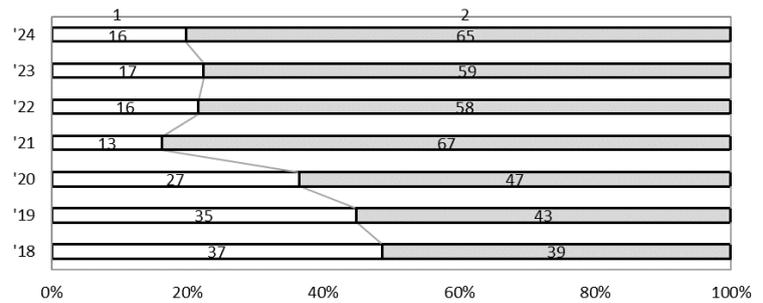
修了年度



(C2) M1の時に開催している進路説明会には出席しましたか。

1. はい
2. いいえ

修了年度



(C3) 大学院博士後期課程に進学する人にお聞きします。進学をいつ決めましたか。

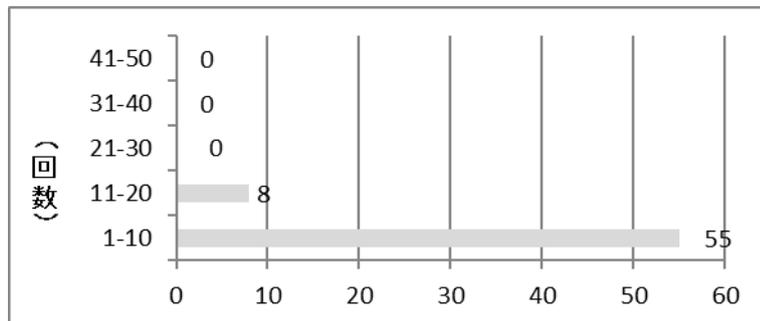
回答数：6件

- 修士1年次 (2名)
- 修士2年次 (2名)
- 学部 (2名)

就職活動をした人にお聞きします。就職活動をしなかった人は(D1)に進んで下さい。

(C4) 就職活動（面接や企業訪問など）のため、企業を何回訪問しましたか。

回答数：63 件



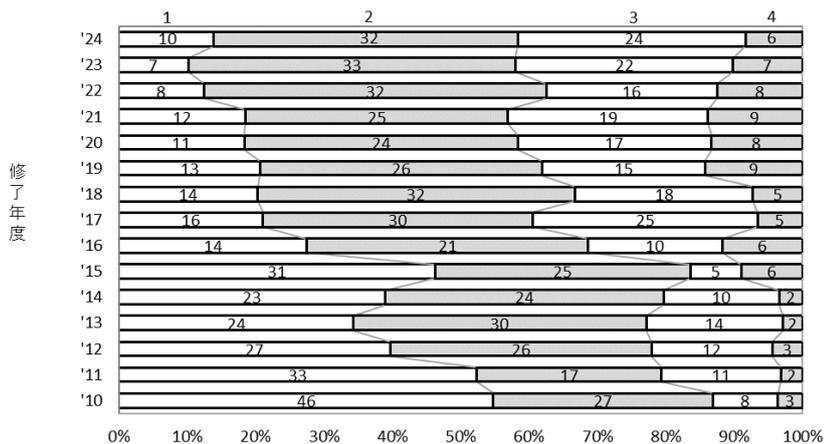
(C5) 就職活動をおこなった期間はいつですか。

回答数：71 件

開始時期	人数	終了時期	人数
2022.10	1	2022.10	0
2023.04	5	2023.04	0
2023.05	5	2023.05	0
2023.06	7	2023.06	0
2023.07	3	2023.07	1
2023.08	9	2023.08	0
2023.09	2	2023.09	0
2023.10	8	2023.10	0
2023.11	5	2023.11	0
2023.12	3	2023.12	3
2024.01	8	2024.01	0
2024.02	5	2024.02	5
2024.03	7	2024.03	10
2024.04	1	2024.04	12
2024.05	0	2024.05	15
2024.06	0	2024.06	11
2024.07	1	2024.07	4
2024.08	0	2024.08	4
2024.09	0	2024.09	1
2024.10	0	2024.10	1
2024.11	1	2024.11	0
2024.12	0	2024.12	1
2025.01	0	2025.01	0
2025.02	0	2025.02	0
2025.03	0	2025.03	0
2025.04	0	2025.04	0
2025.05	0	2025.05	1
2025.06	0	2025.06	0
2025.07	0	2025.07	0
2025.08	0	2025.08	1
2025.09	0	2025.09	0
2025.10	0	2025.10	0
2025.11	0	2025.11	0
2025.12	0	2025.12	0

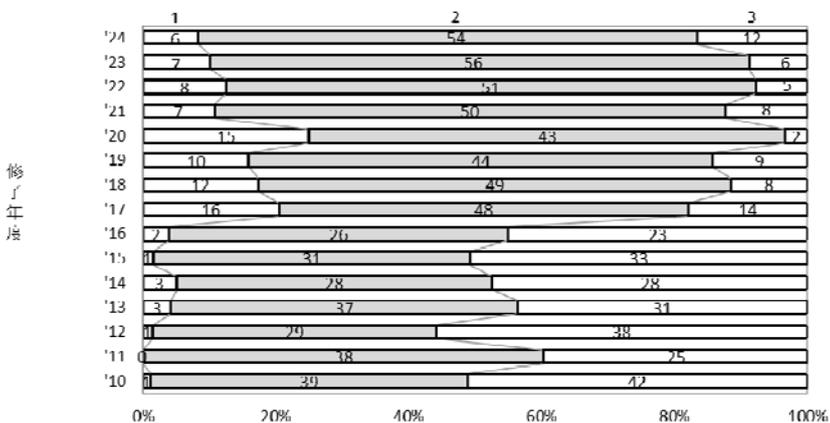
(C6) 就職活動のため、大学院の授業や研究に参加できないことによる影響はどの程度ありましたか。

1. かなりあった
2. 少しあった
3. あまりなかった
4. 全くなかった



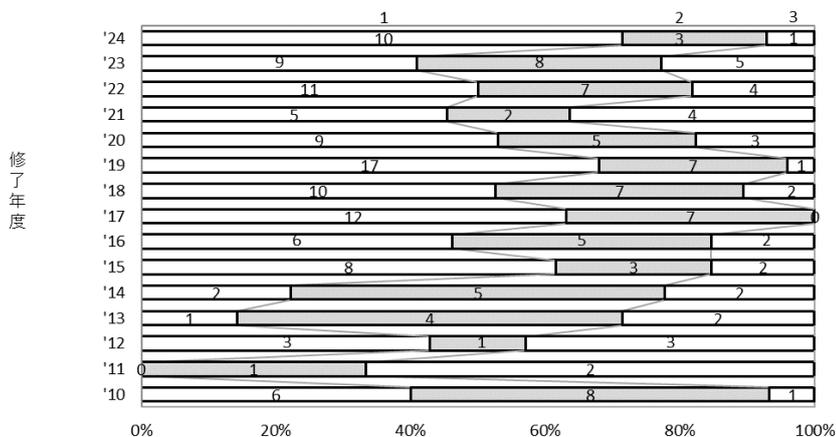
(C7) 企業等からの求人で学部やコースからの推薦を依頼されることがありますが、この推薦枠を利用されましたか。

1. 推薦を利用した
2. 推薦枠を利用しなかった
3. 知らなかった



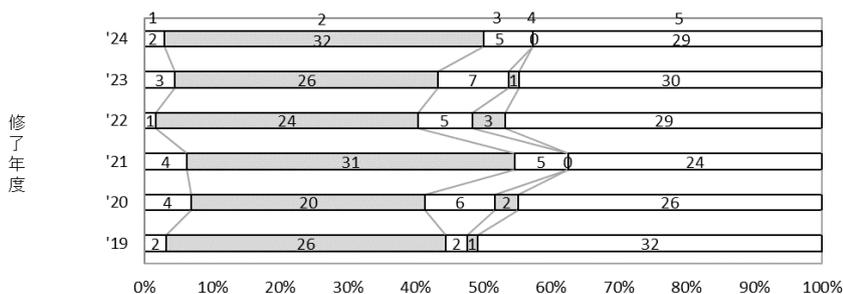
(C8) 大学院でインターンシップを履修した人にお聞きします。インターンシップは卒業後の進路を決める上で役立ちましたか。

1. 役立った
2. どちらとも言えない
3. ほとんど役立たなかった



(C9) 就職相談・キャリア支援の体制および情報には満足でしたか。

1. 大いに満足である
2. 満足である
3. 不満足である
4. 大いに不満足である
5. 利用していない

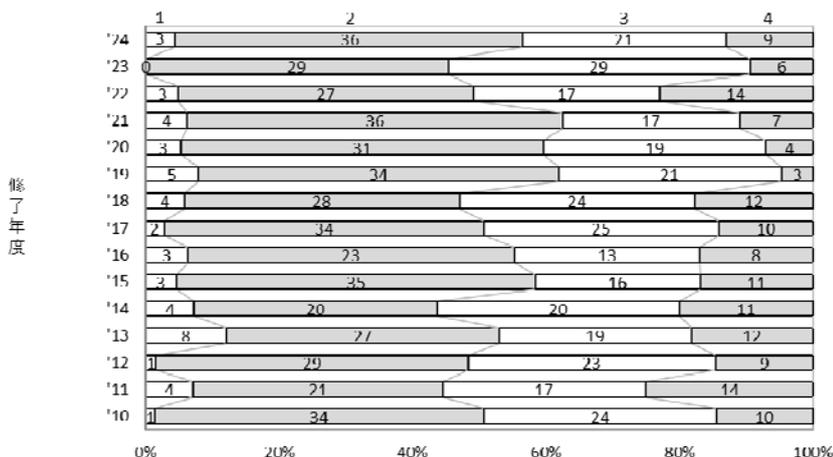


(C1) から (C9) への回答に関して、修士修了後は民間企業への就職が多数を占めている。インターンシップ科目の履修者数は年による変化が大きい。ただ、就職活動により研究・授業等に出られないことは学生の学修に影響すると考えられる。

熊本大学理学部理学科を卒業した人にお聞きします (該当しない学生は (D1) に進んで下さい)。

(C10) 就職活動で学部時代に数学・理科の専門基礎を幅広く学んだことが役に立ちましたか。

1. 採用の決め手となった
2. ある程度役にたった
3. どちらともいえない
4. 役に立たなかった

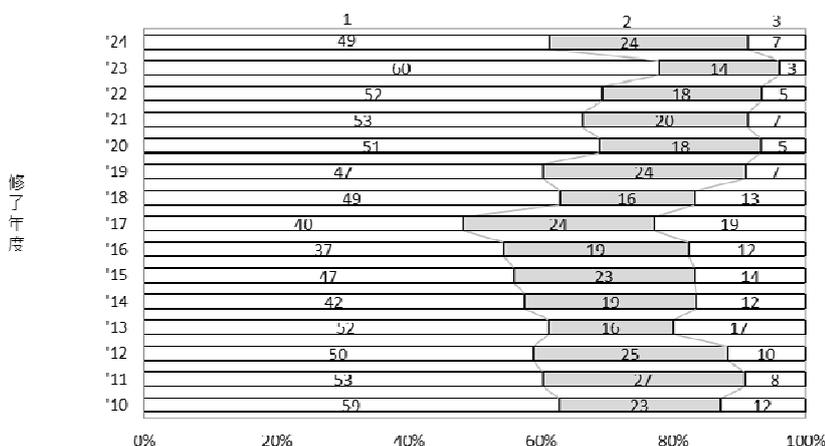


(C10) への回答に対し、年により若干の変動はあるものの、役に立たと答える割合が 50%前後であり、この数値を上げるにはどうすれば良いかを検討する必要がある。

#### D. 学習環境や学生生活について

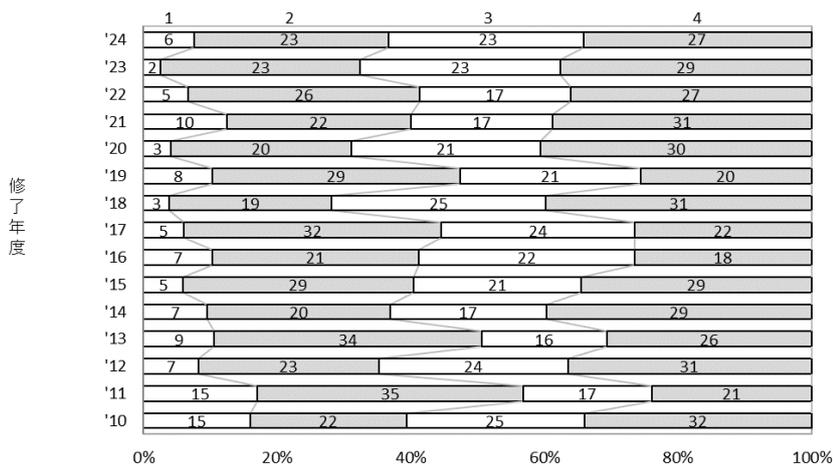
(D1) 自主的に学習できる場所や施設は十分ですか。必要なものがあれば挙げて下さい。

1. 十分
2. どちらとも言えない
3. 不十分



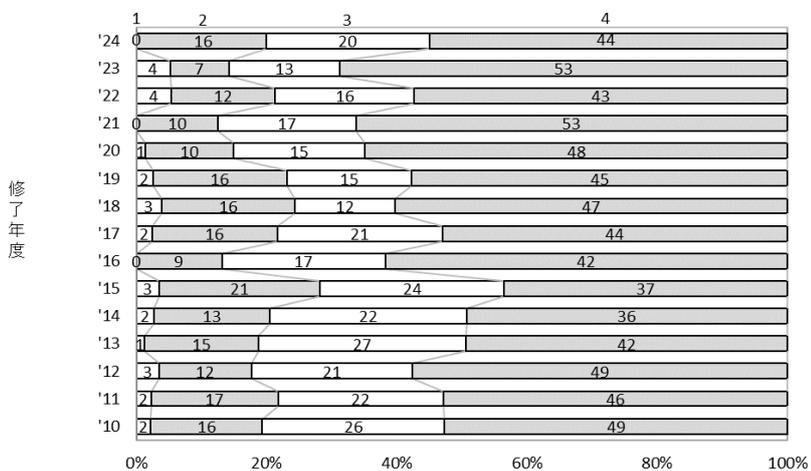
(D2) 在学中は、学生生活を続けていく上で、経済的な問題がありましたか。

1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった



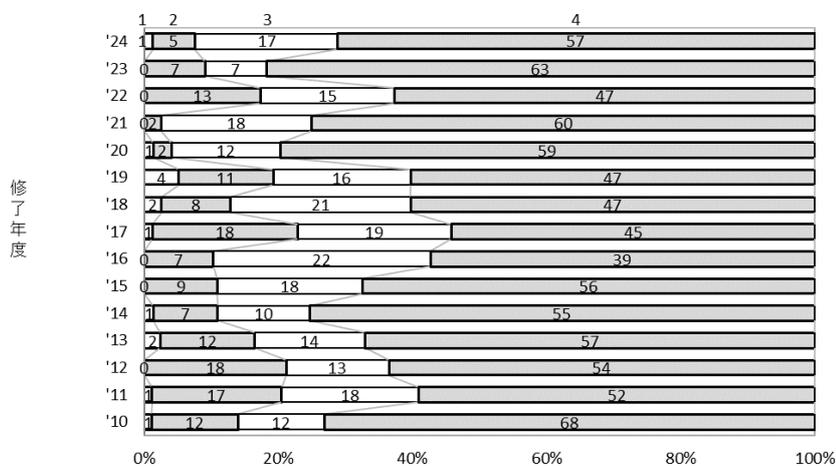
(D3) 在学中は、教員や学生との人間関係で問題がありましたか。

1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった



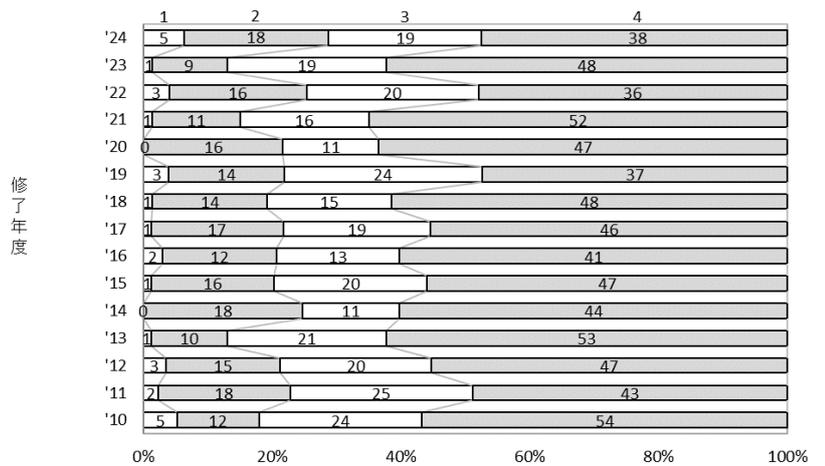
(D4) 在学中は、住居の条件や環境に問題がありましたか。

1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった



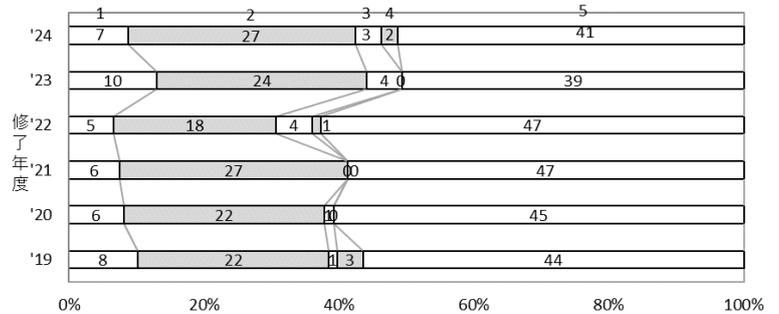
(D5) 学生生活を続けていく上で健康面に問題がありましたか.

1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった



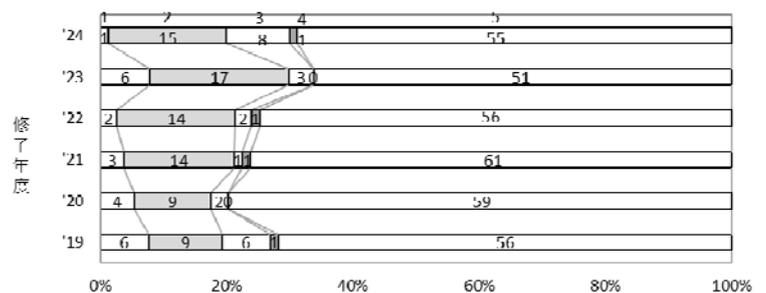
(D6) 健康相談の体制には満足できましたか.

1. 大いに満足である
2. 満足である
3. 不満足である
4. 大いに不満足である
5. 利用していない



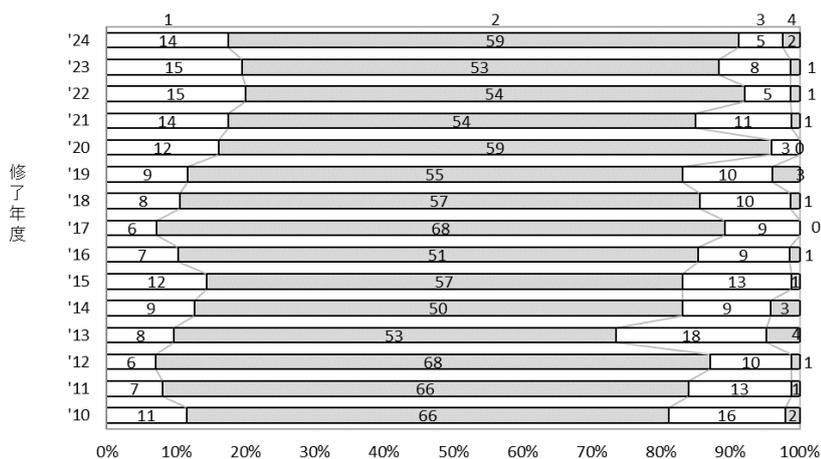
(D7) 各種ハラスメント相談の体制には満足できましたか.

1. 大いに満足である
2. 満足である
3. 不満足である
4. 大いに不満足である
5. 利用していない



(D8) 授業・学習支援・生活支援を含む熊本大学の学習環境全体の満足度についてお聞きします。

1. 大いに満足である
2. 満足である
3. 不満足である
4. 大いに不満足である



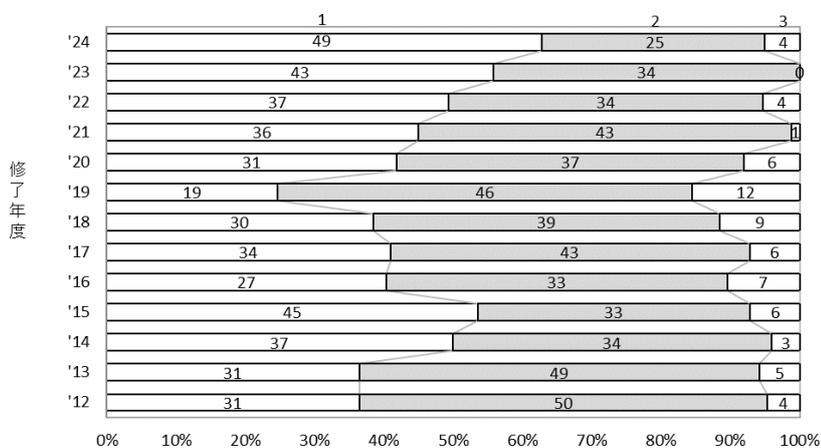
(D1) から (D8) への回答に関して、概ね満足といった回答が多数を占めるが、24 年度に関して D7 ハラスメント体制に対し不満足との回答が 8 名いたことは注意が必要である。

### E. 授業改善アンケートおよびシラバスについて

大学院の授業に関するシラバスについてお聞きします。

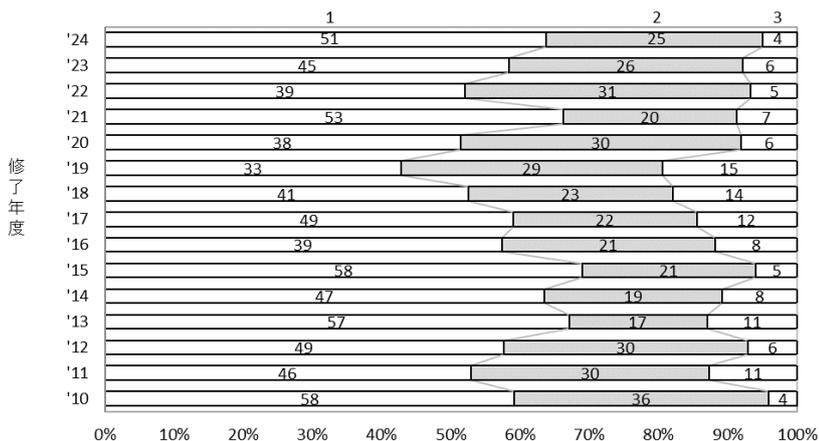
(E1) シラバスは良くよみましたか。

1. 良く読んだ
2. 真剣には読まなかった
3. 見ていない



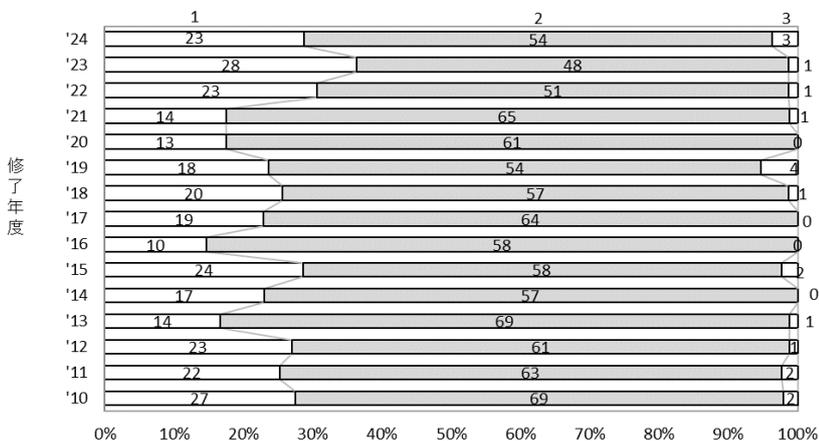
(E2) 履修する科目を選択する際にシラバスは役立ちましたか.

1. 役立った
2. どちらとも言えない
3. ほとんど役立たなかった



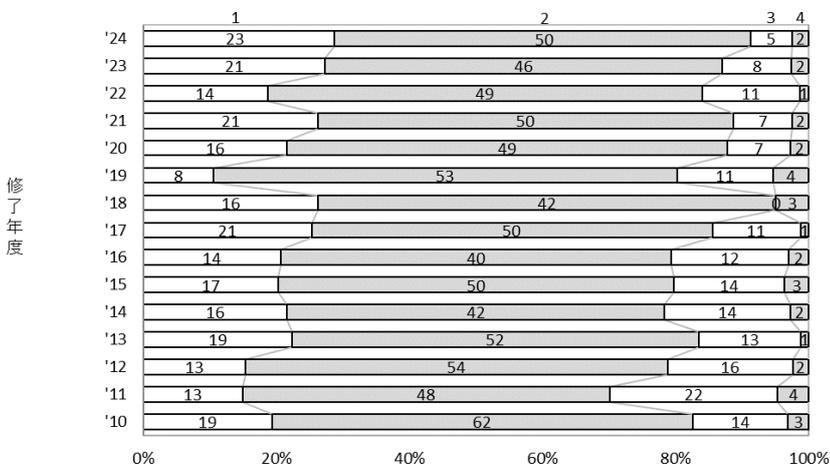
(E3) シラバスの成績評価の方法はもっと明確なものが良いですか.

1. より明確な方が良い
2. 今の程度でよい
3. その他



(E4) 全体的に、シラバスに記載された方法で厳格な成績評価が行われていると思いますか.

1. 行われている
2. 多くの科目で行われている
3. あまり行われていない
4. その他

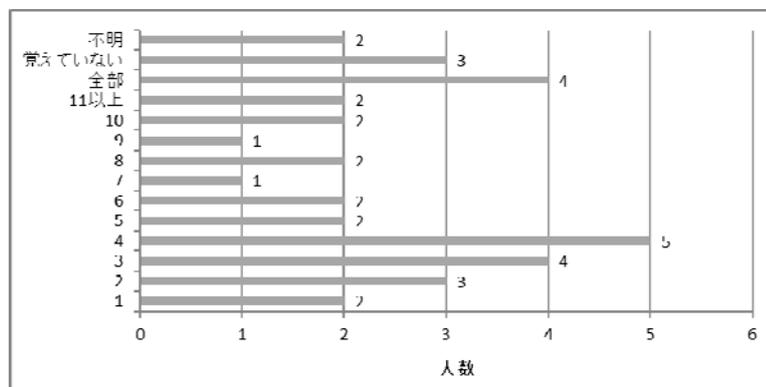


(E1) から (E4) の回答に関して、概ね好意的な回答が多数を占めている。シラバスに関しては、活用する学生の割合が増加傾向にある。

大学院の授業に対して行われた「授業改善のためのアンケート」についてお聞きます。

(E5) 在学中何科目の授業でアンケートに回答しましたか。

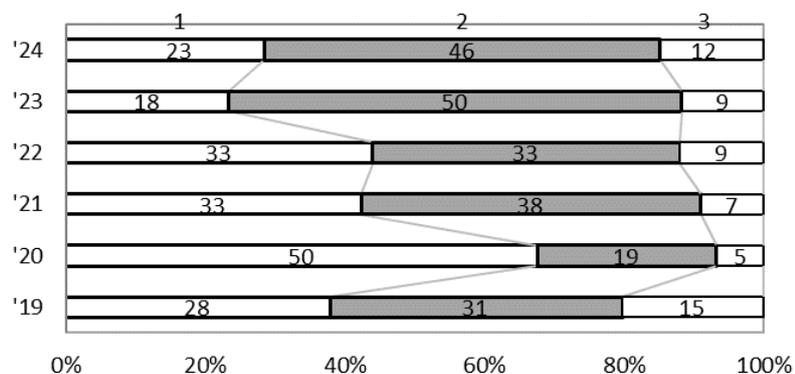
回答数：35 件



(E6) アンケートの回答に積極的に協力しましたか。

1. はい
2. いいえ
3. アンケートを行った授業がない

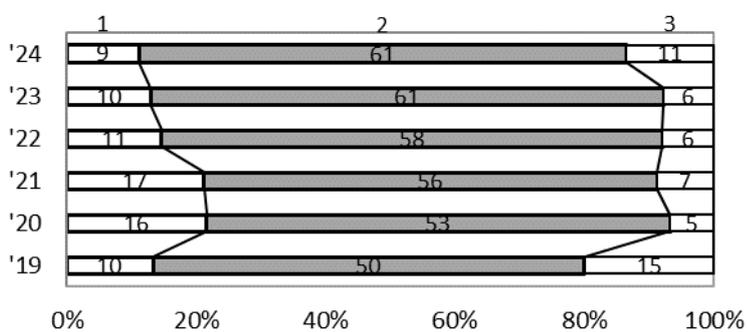
修了年度



(E7) Web 上での教員のコメントは読みましたか。

1. はい
2. いいえ
3. アンケートを行った授業がない

修了年度



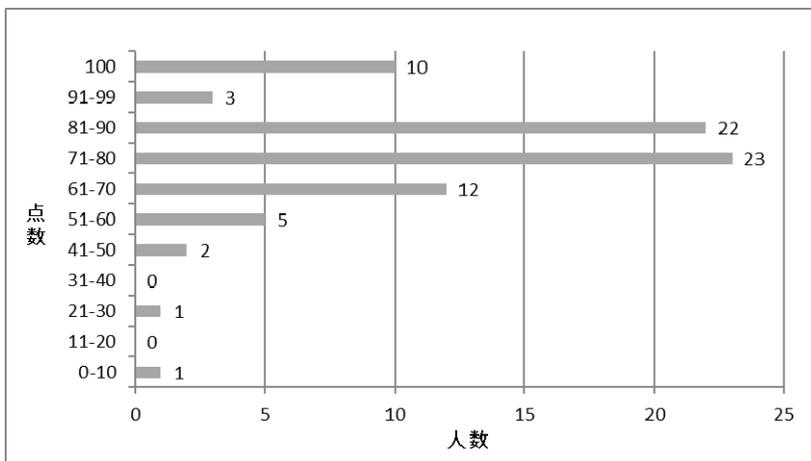
(E5) から (E7) への回答に関して、授業改善のためのアンケートに対する学生の意識が低いため改善が必要である。

## F. 総合評価

自身の専攻に対する評価をお聞きします。

(F1) あなたの理学専攻に対する評価・満足度を100点満点で点数をつけて下さい。

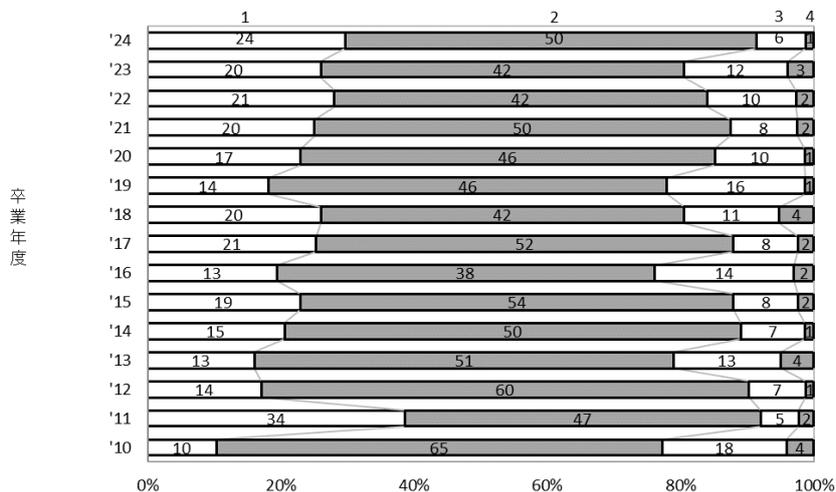
回答数：79件



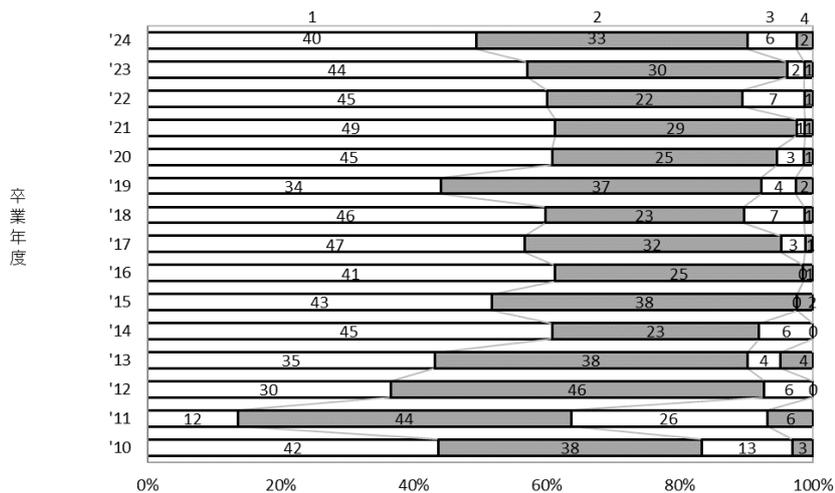
(F2) 自身の専攻の評価項目に関して次の4段階で回答して下さい。

1. 大いに満足である    2. 満足である    3. 不満足である    4. 大いに不満足である

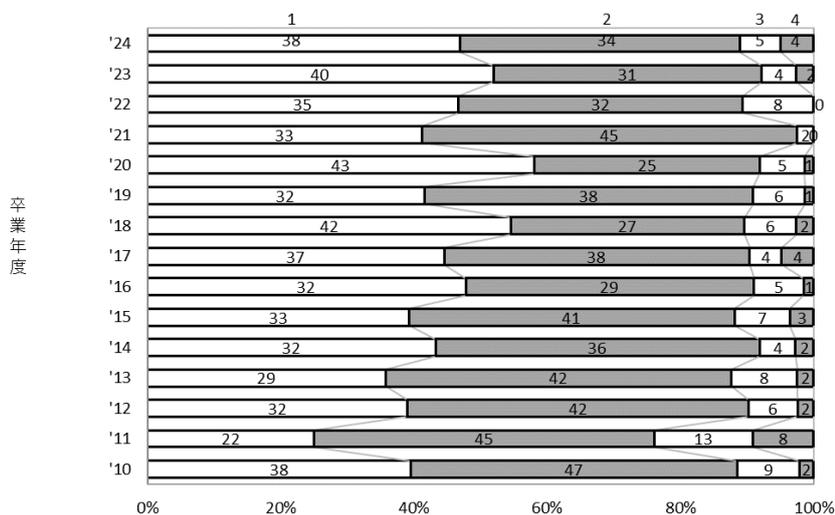
a. 授業科目の開設状況：



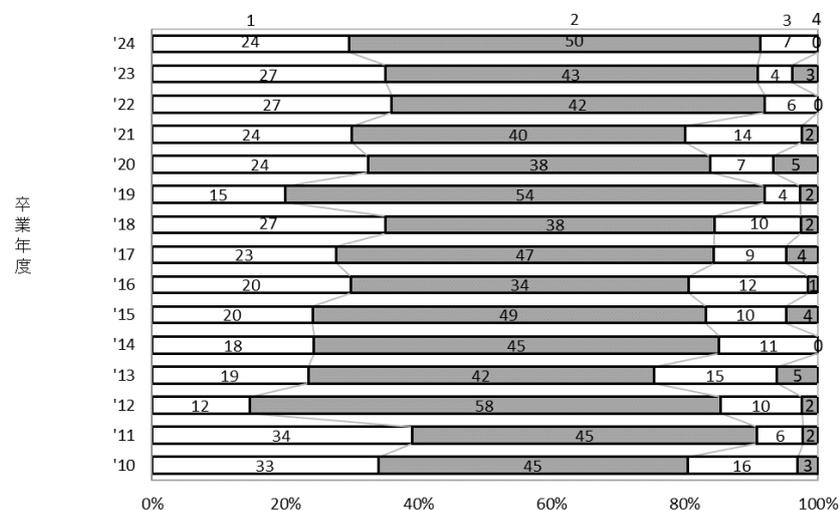
b. 修論等の指導 :



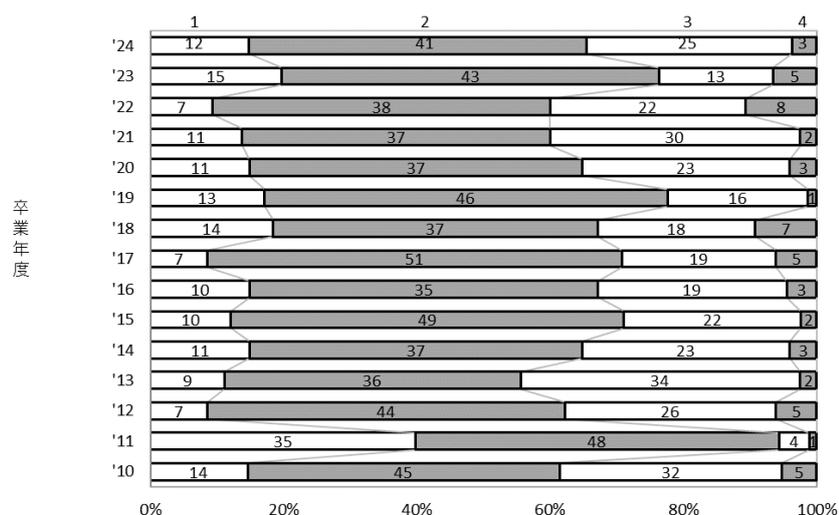
c. 研究室等での人間関係 :



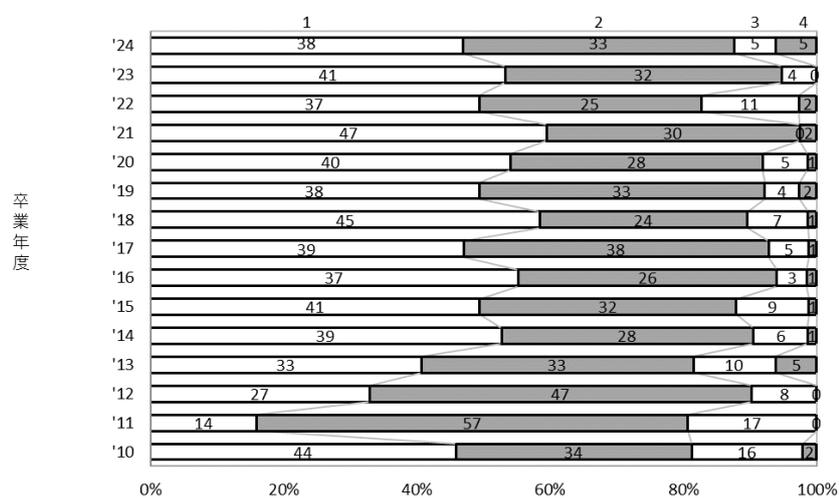
d. 施設や図書等の勉学環境 :



e:国際交流



f. 教職員等の熱意・対応態度等：



(F1), (F2)の回答に関して、各項目に対し概ね満足といった回答が多数を占めた。ただ項目「e」の国際交流に関しては他の項目と比べ満足度の低い傾向にあるため、この点については留意が必要である。

また、自由記述のコメントでは研究スペースと施設設備に対する要望があった。